

会 議 開 催 結 果

1 会議の名称	第1回砥部町社会教育委員会
2 開催日時	令和5年6月8日（木）19時から
3 開催場所	砥部町中央公民館 2階 会議室1
4 審議等事項	説明事項 令和5年度社会教育事業について ・社会教育係事業 ・文化スポーツ係事業 ・公民館係事業 ・ひろた交流センター事業 協議事項 ・「とべ焼博士事業」について ・「ニュースポーツ体験事業」について ・「ふるさと再発見紀行」について ・「ひろた子どもあそび広場」について
5 出席者名	【委員】太田由美子・前田眞・曾我部功一郎・垂水晴香・敷村一元・山下吉信・堀江直美・三浦健太郎・廣瀬美和子・野村りえ （10名全員出席） 【教育長】大江 章吾 【事務局】山本 勝彦（社会教育課長） 藤岡 毅（社会教育課長補佐） 瀬川 徹（社会教育係長） 山本 雄輝（文化スポーツ係長） 松下 寛志（公民館長） 町田 忠彦（ひろた交流センター長） 安岡 大貴（ひろた交流センター主事）
6 公開又は非公開の別	公開
7 非公開の別	—
8 傍聴人数	0人
9 所管課	砥部町教育委員会 社会教育課 電話 962-5952

第1回砥部町社会教育委員会会議録（要旨）

発言者	発言内容
事務局	開会宣言
	委嘱状交付
教育長	教育長あいさつ
事務局	社会教育委員について説明
	自己紹介（社会教育委員→社会教育課職員）
	会長・副会長の選出 会長：太田由美子 副会長：曾我部功一郎 に決定
会長	会長あいさつ
事務局	これからの議事の進行は、砥部町社会教育委員会議規則第2条第3項により、「会長は、会議を主宰する。」と規定されていますので、太田会長にお願いいたします。
議長	「令和5年度社会教育事業について」を議題とします。まず、社会教育係事業について事務局より説明をお願いします。
事務局	【令和5年度社会教育事業について】 （社会教育係事業） 資料【社会教育係 主要事業】を基に順番に読み上げて説明
議長	ただいまの事務局の説明ついて、ご意見・ご質問等ありますか。
委員	ボランティアリーダー養成事業で対象者を大学生等としていますが、実際どんな方が参加していますか。
事務局	町内出身者とか関係なく、愛媛大学、松山大学、医療技術大学などの学生さんに参加していただいています。
委員	中断している海外派遣は、再開する方向ですか。また、子どもたちからの要望の声はありますか。

事務局	ある程度、子どもたちからも要望があると認識しています。再開については、世界情勢を見ながら、派遣場所をどこにするのかを含め、今後検討していきたいと考えています。
委員	学ぶ機会が多い仕組みになっているため、学んだ事を実践するような事業が加わってくるとより人材育成につながると思います。例えば、ボランティアリーダーを色んなところで活用するなど、活躍できる場が用意できていると事業としてさらに定着していくと思います。
委員	中高生に目を向けた事業が何か展開できると、より人材育成の面でつながりが持てて良いのではないかと思います。
議長	以上でご意見はないようですので、社会教育係事業については終わります。 続いて文化スポーツ係事業について議題とします。事務局説明をお願いします。
事務局	(文化スポーツ係事業) 資料【文化スポーツ係 主要事業】を基に順番に読み上げて説明
議長	ただいまの事務局の説明ついて、ご意見・ご質問等ありますか。
委員	砥部町の体育事業は充実していると、町外の方に言ってもらえているため、このまま続けて欲しいと思っています。一方、坂村真民のことは、町民でも知らない人が多いと自分の体験からも感じるため、もっと PR できたら良いかなと思います。
委員	中学校で話題になっている部活動の地域移行について、受け皿としてスポーツ協会さんとかが考えられると思いますが、現状どのようになっていますか。
事務局	受け皿の検討というのは現在進めているところです。主は学校教育課が進めていく話にはなりますが、社会教育課としては、スポーツ協会さんや、地域のスポーツ少年団など、受け皿になり得る可能性がある団体をつなぐ、はしご役を担いたいと考えています。 また、指導者育成補助金というのを創設しており、受け皿になり得る方の養成もしていきたいと考えています。

委員	地域の誇りになるような資源を見える化していく活動は大事であると考えています。体験・学びをするだけでなく、新しい資源をみんなで見つけ出していくような活動ができるとより深みが出て良いと思います。
議長	以上でご意見はないようですので、文化スポーツ係事業については終わります。 続いて公民館係事業について議題とします。事務局説明をお願いします。
事務局	(公民館係事業) 資料【公民館係 主要事業】を基に順番に読み上げて説明
議長	ただいまの事務局の説明ついて、ご意見・ご質問等ありますか。
委員	「とべっ子文化の広場教室」の説明で、参加者の固定化を解消するために見直しを行ったとのことでしたが、全ての教室を見直したということですか。
事務局	全ての教室を対象に、新しい人が参加しやすいように、体験会を実施したり、教室名を親しみ易いものに変更したり工夫を行いました。
委員	クラブというのは、新たにクラブとして居場所を作るというものですか。
事務局	年数が経って、ある程度学ばれた方で、講師から学ばなくても活動ができる状態になったらクラブへ移行してもらっています。現在はギターと俳句がクラブ化をしており、町としては、変わらず使用場所の提供や、参加者募集の援助を行っています。
委員	公民館活動が段々下火になってきているとの話でしたが、以前は何をされていたのでしょうか。
事務局	公民館とは、自治会の運営という顔も持っており、自治会ごとになりますが、地域の人の運動の場や、学びの場、憩いの場になったりするものです。コロナの影響によりその活動がなくなりつつあるため、今後、分館長さんを中心に何かできないか検討していきたいと考えています。
議長	以上でご意見はないようですので、公民館係事業については終わります。 続いてひろた交流センター事業について議題とします。事務局説明をお願いします。

事務局	(ひろた交流センター事業) 資料【ひろた交流センター 主要事業】を基に順番に読み上げて説明
議長	ただいまの事務局の説明ついて、ご意見・ご質問等ありますか。
委員	「広田秋季大運動会」というのは、小学校・保育所でやるものとは別物ですか。
事務局	広田小学校の運動会に地域の人が参加して実施しているものになります。
委員	「広田ふるさとフェスタ」に参加する人は、広田の人が多いんですか。それともそれ以外の方が多いですか。それと、販売している高原野菜をもっとPR できたら良いと思います。
事務局	地域の方は少なく、町内の方も来てもらっていますが、一番は町外の方が多く来ていただいています。
委員	先程の公民館活動の件にもつながりますが、広田のような地域力を他の地域でも生み出していかないと段々先細りになっていくと思います。地域のコミュニティを見直す動き、地域における共通目標に向かって活動していくような動きが必要になるため、それに対する支援制度みたいな取り組みができると良いと思います。
議長	以上でご意見はないようですので、「令和5年度社会教育事業」については以上とします。 続いて、協議事項に移ります。まず「とべ焼博士事業について」を議題とします。事務局より説明をお願いします。
事務局	【「とべ焼博士事業」について】 資料に基づき、事業概要等を説明
議長	ただいまの事務局の説明ついて、ご意見・ご質問等ありますか。
委員	4年生をターゲットにしないと、5・6年生は中学生になって部活も始まるため厳しいと思います。
委員	1年目の内容が、町内の小学生なら学校で習っている内容と被ると思われるため、もっと学校ではできない内容にすると良いと感じました。

事務局 (課長)	基本的には学校での学習とはすみ分けたいと考えており、内容については関係者の方と検討していくことになりますが、砥部焼のことを好きになってもらって、自分をもっと知りたいと思うような興味の醸成ができる内容としていきたいと思います。 また、5・6年生で中学生になって部活動をしながらでも、興味があって学習したい子は参加してもらったら良いのではないかと考えています。
委員	体験学習に参加しなくても受検は可能ですか。受検は2級から順番にしていくものですか。また、検定試験検定試験に合格した後の活用は検討していますか。
事務局	現時点では、体験学習に参加していなくても受検可能としています。また、基本的には2級からスタートしてもらうことを想定していますが、最終的に博士になった子に対して、どうアプローチしていくかは今後、検討していきたいと考えています。
委員	3年間10人でやるというのは計画としてもったいないし、興味を持ってもらうのが狙いなら、1年でも良いのではと感じます。子どもは割と興味を持ったらどんどんやっていくと思うので、1年で博士までなるような子を出せば良いと思います。子どもにとって3年は長いです。
委員	1年間で3つのコースを設けて、それを3年間実施してみるというやり方もあると思います。また、受講後の子たちは、砥部焼の応援団や砥部焼まつりでのガイドになってもらうとかで活かしていくと良いと思います。
議長	以上でご意見はないようですので、「とべ焼博士事業」については以上とします。 続いて、「ニュースポーツ体験事業」についてを議題とします。事務局より説明をお願いします。
事務局	【「ニュースポーツ体験事業」について】 資料に基づき、事業概要等を説明
議長	ただいまの事務局の説明ついて、ご意見・ご質問等ありますか。
委員	ニュースポーツは地味なので食いつきにくいと感じています。見せ方が重要で、機会を多く与えて、半ば強制くらいでやってみても良いのかなと思っています。

委員	子どもたちの関心は e スポーツの方が高いため、そこに着目してみても良いのかもしれませんが。
議長	以上でご意見はないようですので、「ニュースポーツ事業」については以上とします。時間が長くなってきているため、「ふるさと再発見紀行」についてと「ひろた子どもあそび広場」については、一括してご意見・ご質問を伺いたいと思いますが、何かありますでしょうか。
事務局	【「ふるさと再発見紀行」について】【「ひろた子どもあそび広場」について】 「ふるさと再発見紀行」でのご意見ではなく、前身の「砥部四国」の保存・伝承に行政と地域がどう関わっていくかという点でご意見をお伺いしたいと考えています。 今すぐに結論を出すものでもないので、今回は問題提起という形で次回以降に協議をしていただけたらと思います。
議長	他に何かございませんか。 特にないようですので協議を終了いたします。 それでは事務局へ進行を戻します。
事務局	以上を持ちまして、第 1 回砥部町社会教育委員会を終了いたします。 お疲れ様でした。